

2022-23 INTERNATIONAL ROTARY DISTRICT2770
ROTARY CLUB OF IWATSUKI
since 1963



Weekly Report



クラブ・スローガン Love ~愛をもって今を生きる~

会長 田畑寛樹
幹事 関根信行

例会場：割烹「ふな又」 例会日：木曜日 第1・第2 12時30分 第3 18時00分点鐘
事務所：さいたま市岩槻区本町 3-8-2-203 TEL048-758-0680 FAX048-758-0681
http://www.iwatsuki-rotaryclub.jp Mail:info@iwatsuki-rotaryclub.jp

田畑寛樹年度第7回

通算 2813 例会

令和5年9月7日

会長の時間

第61代会長 田畑寛樹

親愛なる皆様、こんにちは。
本日も皆様にお会いできたことに感謝を申し上げます。

本日は岩槻高等学校 インターアクト部顧問 柴田良美様がお越し下さっております。
ようこそ岩槻ロータリークラブへ。私たち岩槻ロータリークラブ会員各位は、柴田様の訪問を心より歓迎致します。どうぞ時間の許す限り自慢の岩槻ロータリークラブを楽しんでいって下さいませようお願い申し上げます。

岡野委員長からもございましたが、岩槻まつりでは準備段階から当日にわたり、誠にありがとうございました。夏季休暇前までバザーの品があまり集まっておられませんでしたので、ほんの一瞬だけ不安が頭をよぎりましたが、前日準備から当日本番と蓋を開けてみると流石みんな、流石岩槻ロータリークラブだなと改めて実感致しました。私自身この日は、岩槻まつりを最後まで初めて楽しませていただきました。誠にありがとうございました。

8/30(水) 蓮田ロータリークラブ様、9/5(火) 大宮北東ロータリークラブ様へ表敬訪問させていただいて、全ての表敬訪問を終えることができました。その中で私が体感したことは、やはり『らしさ(個性)』が大切だということ。

岩槻ロータリークラブは、長い間先輩方が本当によく私たちへバトンを繋いでくれたのだと心から感謝を致しました。このバトンを途切れることなく次代に繋がなければならないと固く決意をすることになりました。

この後通常の例会はもちろんですが、10月にはグループ合同奉仕事業、関根幹事がグループのため、粉骨砕身頑張っております。必ず大成功に終わります。その後、ガバナー公式訪問、地区大会、を終えると12月になりあつという間に2023年、上期も終わっていくと今から気を引き締めると同時に『今を生きている』という感じがして時にきつく、しかし今ではそれら含めて全てを楽しめるようになって参りました。

これからも困難なことは出てくると思いますが、岩槻ロータリークラブ関係各位で全てを受け入れ、楽しんで、新し



いストーリーを作っていきます。必ず今より更に良い岩槻ロータリークラブに、必ず今より良い世界になります。一緒に「Enjoy Rotary!」そして何よりかけがえのない人生と一緒に楽しみましょう。

本日は部門セミナー報告となります。お忙しい中を参加された皆様誠にありがとうございました。報告を楽しみにしております。
以上で会長の時間とさせていただきます。
皆様、本日も何卒宜しくお願い申し上げます。

幹事報告

幹事 関根信行

- ①9月のロータリーレートは146円です。
- ②2023-24年度 国際ロータリー第2770地区より社会奉仕部門セミナー「ロータリー・フェスタ・絆まつり」のご案内。
日時 2023年9月17日(日)
●ロータリー・フェスタ 10:00開会 12:00閉会
●絆まつり 13:00~(自由参加)



- 場所 大宮ソニックシティ前 鐘塚公園
- ③次年度地区役員選出のお願い。9月10日
- ④RI2770地区 YouTube 動画「未来の扉」のご案内
- ⑤公益財団法人ロータリー米山記念奨学会、ハイライトよねやま
- ⑥公益財団法人 米山梅吉記念館
理事長 松村 友吉
秋季例祭のご案内 9月16日
- ⑦RI日本事務局財団室よりマイロータリーのアップデート
- ⑧埼玉県眼科医会 目の健康口座 10月1日
さいたま新都心・スーパーアリーナ近く TOIRO で開催されます。
- ⑩大宮西RC、大宮北RC、大宮東RC、大宮北東RCより9月の例会の案内が来ております。
- ⑪大宮北RC、大宮東RC、岩槻東RC、大宮北東RCより週報が来ております。

◆次回の例会◆ 令和5年9月14日(木) 早朝例会

開始：6:00 会場：大光寺

インターアクト

8月20日(日)に岩槻まつりにおいて開催したバザーの売上金を岩槻高等学校インターアクト部顧問の柴田良美先生に田畑会長からお渡ししました。今後の活動に役立ててもらいたいと思います。



柴田良美先生ご挨拶

『いつもロータリークラブの皆様には多大なご協力を頂きありがとうございます。バザーでは生徒たちも楽しみながら地域の皆様とふれあうことができました。また年次大会においてはコロナ禍での他校の活動を知ることが出来てよかったです。今後の活動については生徒達も自発的に意見を出し合いながら計画を立てていますので、これからも何卒お力添えをよろしく願いいたします。』

委員会報告

会員増強・選考委員会 委員長 小林 篤

皆様のご協力により52名の新会員候補者リストが出来上がりました。担当者の方は今後お早めに候補者の方にお声がけをお願い致します。その際には私の方にもご一報頂ければと思います。



青少年・財団・米山委員会 委員長 岡野 育広

8月20日(日)岩槻まつりのバザーでは会員皆さんに色々ご協力頂きましてしっかりと開催できたことに感謝申し上げます。

8月21日(月)、埼玉県立鴻巣高校(スポンサークラブ鴻巣RC)をホストとしてクレアこうのす大ホールにて第35回インターアクト年次大会が開催され、クラブからは田畑会長と私、岩槻高校からは柴田先生と生徒4名、合計7名での参加となりました。14校の中で8番目に岩槻高校IACとして丸山さんと島田さんがすばらしい活動発表をしました。柴田先生も先ほど仰っていましたが、他校の活動を知ることができたのも良かったと思います。



管理運営委員会 委員長 伊藤真守

今回の例会9/14(木)は早朝例会となります。朝の5時50分に大光寺様において集合です。たくさんの皆様の出席をお待ちしております。



部門セミナー報告

●米山記念奨学部門

(8/27 川口駅前市民ホールフレンジア)

青少年・財団・米山副委員長 内藤 明

田畑会長と私で出席してまいりました。

セミナーの内容としましては、米山記念奨学事業の概要、寄付増進について、米山奨学生と受け入れクラブの選考方法、米山親善大使の基調講演がありました。



○米山奨学事業

日本のロータリー独自の事業。(日本全国34地区の合同事業)日本で学ぶ外国人留学生の支援を目的として公益財団法人ロータリー米山記念奨学会で運営しています。

奨学生を受け入れる世話クラブとカウンセラー制度を導入し交流を重視して奨学生を支援しています。

国内において外国人奨学生を迎える団体は色々ありますが、日本最大規模の奨学生数を受け入れているのが米山記念奨学会です。累計22,875人、129の国と地域(最も多いのは中国、次いで韓国、台湾)からの奨学生がおり、2022年度は898人(中国・ベトナム・韓国他)でした。

○奨学生世話クラブの選考方法

クラブ・個人・法人からの寄付で成り立っている団体ですので、寄付額が多いクラブほど奨学生を迎え入れることが出来ますが、クラブによって会員数の違いもありますので偏差値制度を設けており、寄付者の人数割合も影響します。

○米山奨学委員会の活動

米山奨学生を選抜する面接試験の実施、世話クラブの順位の算出と世話クラブの決定、奨学生の割り当て、奨学生同士の交流事業を行っています。学友(米山奨学生のOBOG)による世界大会を開催しています。(学友の活動として2023年はクリーンアップ・ウォーキングを企画、昨年10月2日には岩槻でも開催)

○よねやま親善大使基調講演

イメン ジェブリさん(2019-2021年/西宮ロータリークラブ/チェンジア出身)神戸大学で博士号を取得。現在東京理科大学勤務。皮膚がんの研究をしながら積極的にボランティア活動を続ける、日本が大好きで活発な女性でした。

岩槻RCとしても各国から来ている奨学生を迎え入れる事ができるよう、米山事業に関心をもって一人でも多く寄付金について考えていかなければいけないと思います。

●職業奉仕部門 (7/22 大宮ソニック)

職業・社会・国際奉仕委員会 樵 康史

代理：鈴木真樹

職業奉仕部門セミナーに参加させて頂きました。特別卓話では大宮ロータリーの中川様よりメンタルヘルスについてお話がありました。

メンタルヘルスとは、個人の心理的な健康と精神的な健全さを指す概念です。これは、感情、思考、行動、ストレスの処理、人間関係など、心の側面に関連する幅広い要因に影響を受けます。良好なメンタルヘルスは、個人が自分自身や他の人との関わりにおいて感じる幸福感や満足度を支え、適切に日常生活の課題に対処し、ストレスや困難に立ち向かうためのリソースを提供します。

メンタルヘルスの状態は、人々がストレス、不安、うつ病、自己価値感の低下などの問題にどの程度影響を受けているかを示します。適切なメンタルヘルスクエアは、これらの問題を予防し、管理し、改善するための戦略やリソースを提供することを含みます。

メンタルヘルスのケア方法には、専門家のサポートを受けること（心理療法や精神薬物療法など）、健康的なライフスタイルの維持（運動、バランスの取れた食事、十分な睡眠）、ストレス管理テクニック（瞑想、深呼吸など）、社会的なつながりの強化などが含まれます。

最近では、メンタルヘルスの重要性がより広く認識され、社会的な議論やプログラムが増加しています。メンタルヘルスの支援は個人だけでなく、組織や社会全体にとっても重要なテーマとされています。

メンタルヘルスの社会問題が解決されない理由があります。

- ② アクセスの不足：専門的なメンタルヘルスクエアの提供が、地域や経済的な要因によって制約を受けることがあります。特に、低所得層や地理的に離れた地域では、適切な治療やサポートを受けることが難しい場合があります。
- ③ リソースの不足：メンタルヘルスクエアの提供には専門家、施設、資金などのリソースが必要です。しかし、これらのリソースが不足している場合、適切な治療や支援を提供することが難しくなります。
- ④ 複雑な症状と診断：メンタルヘルスの問題はしばしば複雑で多様な症状を示すため、正確な診断と治療が難しいことがあります。また、症状が身体的な問題と関連している場合もあり、それが診断と治療の遅れを引き起こすことがあります。
- ⑤ 社会的な要因：環境、人間関係、職場のストレス、経済的な困難など、社会的な要因がメンタルヘルスに影響を与えることがあります。これらの問題を解決するためには、より広範な社会的な変革が必要となる場合があります。
- ⑤ 個人の意識と教育：メンタルヘルスに関する正しい情報や自己ケアのスキルが不足しているため、人々が自分自身や他人のメンタルヘルスに対する適切なアプローチを理解していないことがあります。

これらの要因が複雑に絡み合っており、単純な解決策ではないため、メンタルヘルス問題の解決には継続的な取り組みと幅広いアプローチが必要です。社会全体での意識改革や政策改革、リソースの増加、教育の強化などが、メンタルヘルス問題の解決に向けたステップとなるでしょう。

次の卓話ではさいたま樺ロータリーの西ヶ谷様より職業奉仕は誰に奉仕する？でお話を頂きました。

国際的なプロジェクトに参加し物資や経済的な援助や支援をする国際奉仕、地域の人やコミュニティーに対して物資や経済的な援助、支援をする社会奉仕と違って、職業奉仕は定義がわかりづらくどんな奉仕なのか？というお話でした。

国際ロータリーの説明では、職業奉仕とは「全てのロータリアンが倫理と高潔さをもって仕事にあたり、職業の知識やスキルを社会のニーズ解決のために進んで役立てること」とあります。

そこで今回委員会では職業奉仕とは「職業を通じて人々に奉仕することで自らを更なる高みに上げていくこと」と短い文章に纏めました。

また委員会としては、

- ① 職業奉仕について理解を広げること
- ② 例会で仲間を知り人脈を作るプログラムを提案すること
- ③ 知り合いを広めるためのイベントを開催すること
- ④ ロータリアンの人脈をITで繋げる仕掛けを作ることを推進していくとのことでした。

●青少年奉仕部門 (8/19 上尾文化センター)

青少年・財団・米山委員長 岡野育弘

奉仕の第五部門である青少年奉仕は、指導力要請活動、社会奉仕プロジェクト、国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化への理解を深め育む交換プロジェクトを通して青少年等によって、好ましい変化がもたらされることを目的するものです。



○インターアクト・ローターアクト委員会

活動方針と委員会の役割

- ・インターアクトクラブの提唱をクラブに呼びかける。
- ・インターアクターからローターアクター、そしてロータリアンへと関係性を保ち、3者が繋がる活動の支援、ロータリーのプロジェクトに参加しやすい環境を作る。
- ・地域社会で交流を深め、楽しみながらリーダーシップのスキルを養うように支援する。
- ・青少年奉仕部門の中でもインターアクト世代への青少年交換の情報発信、ローターアクト世代への移行、RYLA 研修への参加、繋がりのある形を作る。

※23～24年度の主な活動

- ・6月6日インターアクト顧問教師会。
- ・8月19日青少年奉仕部門セミナー
- ・8月21日インターアクト年次大会
- ・11月12日地区大会募金活動
- ・2770地区と韓国3750地区のインターアクター交換事業

部門セミナー報告

○奉仕活動報告

大宮開成高等学校インターアクトクラブ

- ・2月トルコ地震災害義援募金（大宮駅東口）
- ・3月こどもの夢の商店街（アリオ上尾）
- ・4月あしなが学生募金（大宮駅西口）
- ・5月国際友好フェア（見沼グリーンセンター）
- ・6月神ほたる放生祭（大宮氷川神社）

等の活動報告

○訪韓研修報告

埼玉栄東高等学校インターアクトクラブ

今回の韓国研修は、私達研修生にとって、とっても貴重で大切な一生の経験になりました。

これらはすべて色々な面で多大なるご支援をいただいた各ロータリーの皆様方のおかげです。

本当にありがとうございました。

○ローターアクトクラブ報告

ローターアクト活動は1人ではけしてなし得ません。だからこそ、RACの仲間が非常に重要になってくると思います。ただの繋がりではなく、「この人と共に活動を進めていきたい」と感じながら共に助け合える関係性を構築していきたい。

1人ひとりが、RACに対して真摯に向き合い、紡ぎ合うことによって地区が活性化すると信じています。

○RYLA 委員会

RYLA とは、ロータリー青少年指導者養成プログラムのことで、12～30 歳代くらいまでの若い世代を対象とした短期集中型のリーダーシップ育成プログラムのことです。

この活動は、単クラブや地区または他地区合同で企画・運営し、参加者が新しいスキルを学びながら地域社会と関わり、個人的、職業的に生長できる機会を提供することを目的としています。

具体的には講演、ワークショップ、チームビルディングのアクティビティなどがあります。各トッピングにどのようなアプローチが最適であるか RYLA 委員会で検討し、企画し、参加者がプログラムを通じて地域や世界で変化を生み出すために必要な知識とスキルを身につけることができるように支援をしていきます。

2022～2023 年度 RYLA 研修は、テーマが「平和・環境」で研修地は「沖縄」でした。今回は「グアム」を予定しています。

○青少年交換委員会

2023～2024 年度派遣生、来日学生は7名

ROTEX 体験発表

2022～2023 年度スウェーデン派遣（浦和中 RC） スイス派遣（大宮中央 RC）

ホストファミリーとの関係や、良い経験ができたことと喜んでおりました。

未来を担う青少年のために、可能な限り力を注いでいけたらと思います。

●ロータリー財団部門（9/2 ラフレさいたま）

青少年・財団・米山委員長 岡野育弘

○ロータリー財団とはなにか

※1928年の国際大会で「ロータリー財団」と名付けられ、国際ロータリーに内包される別個の存在になった。

国際ロータリー（RI）

ロータリー財団（TRF）

○国際ロータリーとロータリー財団

※国際ロータリー（RI）の使命

職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて、人びとに奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解・親善・平和を推進すること。

※国際ロータリー（RI）のプログラム

- ・ロータリアンの子弟が参加できます
- ・基本的には、クラブまたはクラブ会員の分担金で賄われます。
- ・青少年奉仕のプログラムが多いです。

※ロータリー財団（TRF）の使命

ロータリアンが、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保全に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解・親善・平和を構築できるよう支援することです。

※ロータリー財団（TRF）のプログラム

- ・ロータリーの3親等以内の関係者は参加できません。
- ・プロジェクトに関してロータリー財団の補助金プログラムを使用することができ、高額なプロジェクトを実施することが可能となります。
- ・ポリオプラス・補助金・平和フェローが財団のプログラム。

国際ロータリー（RI）のプログラムの原資は、人頭分担金から捻出されます。

ロータリー財団（TRF）のプログラムの原資は、ロータリアンが寄付した資金で捻出されます。

ですからロータリー財団への寄付が重要なのです。

ロータリー財団部門委員会

●ポリオプラス委員会

●資金推進委員会

（資金を集める側の委員会）

●補助金・VTT委員会

●地区補助金運営委員会

●財団奨学・平和フェロー・学友委員会

●資金管理委員会

（資金を使う側の委員会）

部門セミナー報告

○資金の流れ

今年度集めた資金は3年後に使用する。
集めた資金から運営費5%引いた後。
地区財団活動資金(DDF) ➡地区補助金50%未満
グローバル補助金、寄贈(ポリオ、平和センター)50%以上
地区の管理、裁量で決めることができる。
国際財団活動資金(WF)
ロータリー財団が管理し、全ロータリー地区の申請によって活用される。

○補助金種類

- ・地区補助金
- ・グローバル補助金
- ・ロータリー災害救援補助金
- ・大規模プログラム補助金

それぞれの補助金の特徴と使い方については、地区補助金運営委員会と補助金委員会にお願いします。

○ロータリーカード

- ・ロータリーカードを利用すると、利用金額の0.3%がロータリーに送付され、ポリオ根絶に役立てられる。
- ・ロータリーカードの利用でたまったポイント(単位;スマイル)をロータリー財団へ寄付することもできる。

○結びに

ロータリー財団は、アーチ・クラブRI会長の提唱により1917年に誕生し、今年で106年目になります。
アーチ・クラブは、最後の演説でクラブが今後多くの事が出来るように基金を設けようと提案しました。
一言で言えば、世界で良いことするには財源が必要!という事です。

世界で良いことをしよう。

スマイルBOX

メンバー

伊藤真守 本日も宜しくお願い致します。
岡野育広 本日も宜しくお願いします。
小林 篤 柴田先生、ようこそ岩槻RCへ。
本日も宜しくお願い致します。
小林利郎 柴田先生ようこそ。
鈴木真樹 本日も宜しくお願いします。
関根信行 部門セミナー報告楽しみにしております。柴田先生、岩高祭がんばって下さい。
田畑寛樹 皆様こんにちは。岩槻高等学校インターアクト部顧問柴田良美様、ようこそ岩槻RCへ。時間の許す限り楽しんでいってください。今日は部門セミナー報告となっております。対象者の皆様よろしくお願ひ申し上げます。
皆様、本日も何卒宜しくお願ひ申し上げます。
内藤 明 部門セミナー報告よろしくお願ひします。
中村 正 岩槻高校の文化祭、大成功を祈ります。
原田晃博 本日も宜しくお願い致します。
三浦宣之 本日も宜しくお願いします。

出席報告

会員数	出席数	免除者	MU	出席率
18	11		6	94.44%

スマイル報告

本日のスマイル合計	14,000円
年間累計額	157,000円

